

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	東大果樹園跡地活用事業（公共施設再配置・町有地有効活用実施計画）			所管課	施設再編課（旧：企画政策課）	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	●
事業対象	町民	目的	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、町有地の活用方法を検討し、本格的な活用を目指す。			
事業概要	平成30年度に策定した事業計画に基づき、東京大学果樹園跡地の有効活用を町民等と共に推進する。					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	07	0005 東大果樹園跡地活用事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
	直接事業費	8,324		69,864		7,411
	概算人件費	2,817		4,971		4,971
	トータルコスト	11,141		74,835		12,382
	国庫/県支出金	2,759		1,245		3,414
	その他	0		50,000		0
R2概算人件費	正規職員	1.15人		4,971千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	人		千円		
	その他	人		千円		
	合計			4,971千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	東大果樹園跡地を活用したイベントの実施数【戦略】（回）	0	1	2	15	20
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	適切な土地利用の推進・快適な住環境の整備誘導	4.19	2.61
2	交流ゾーンの検討	3.53	2.93
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低い満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	□	■	□
緊急性	□	□	□	■	□
実効性	□	□	□	■	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□

成果・課題等
 跡地の有効活用を目指し、町民団体により協議会組織を作り社会実験的な運営に取り組んできた。しかし、各団体の方向性の違いが顕著になり、利用に偏りが生じてきている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	公共施設再配置			所管課	施設再編課（旧：企画政策課）	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に基づき、公共施設の適正な配置及び維持管理を行う。			
事業概要	公共施設再配置・町有地有効活用実施計画の推進を行う。					

事業予算						
会計	款項目			大事業		
		R1決算額（千円）	R2決算額	R3決算見込	R4事業費	
	直接事業費	0	0	2,122		
	概算人件費	1,706	1,776	1,776		
	トータルコスト	1,706	1,776	3,898	0	
	国庫/県支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
R2概算人件費	正規職員		0.21人	1,195千円	/	
	再任用職員		人	千円		
	会計年度任用職員		0.5人	581千円		
	その他		人	千円		
	合計			1,776千円		

成果指標		基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
①	公共施設の総延床面積【戦略】(㎡)	68,729.08	68,729.08	68,729.08	68,451.40	68,312.57
②	耐震未確認の地域集会施設数【戦略】(施設)	9	9	3	3	0

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	公共施設の適正な維持管理・再編	3.90	2.93
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	← 高い → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

旧耐震施設については、計画に沿ってR2に耐震診断を実施し、R3に地区との話し合いに入った。地区の実情や具体化するにつれて抵抗が増す状況を踏まえつつも、少しづつ前に進めていく必要がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和2年度 実績）

予算等事業名	新庁舎整備事業			所管課	施設再編課（旧：企画政策課）	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	防災・災害対策拠点としての機能強化や今後ますます多様化する行政需要に対応するため、新庁舎整備を推進する。			
事業概要	耐震性の不足や老朽化、バリアフリーへの対応不足、行政機能の分散化など多くの問題を抱える現在の役場庁舎の課題分析及び、町民等の意見交換などを踏まえ、新庁舎整備を推進する。					

事業予算						
会計	01	款項目	02	01	07	大事業 0008 施設再編推進事業（二宮町公共施設再配置・町有地有効活用事業）
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算見込
		R4事業費				
	直接事業費	7,172		547		8,008
	概算人件費	9,293		5,675		5,675
	トータルコスト	16,465		6,222		13,683
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R2概算人件費	正規職員	1人		5,094千円		
	再任用職員	人		千円		
	会計年度任用職員	0.5人		581千円		
	その他	人		千円		
	合計			5,675千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3見込	R4計画
① 公共施設の総延床面積【戦略】(㎡)	68,729.08	68,729.08	68,729.08	68,451.40	68,312.57
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

該当施策	重要度	満足度
1 公共施設の適正な維持管理・再編	3.90	2.93
2	#N/A	#N/A
3	#N/A	#N/A
全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い ←————→ 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□

成果・課題等
 誰もが新庁舎の必要性を認識しているものの、随所で様々な意見や抵抗を生じてきた。しかし、R2までの話し合いの中で一定の合意形成が整ったため、R3の計画策定を持って着実に進展させていく。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			